

1 背景

世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から“人中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使用して、人々が集い憩い多様な活動が営まれる場へとしていく取組みが進められています。これらの取組みは都市に活力を生み出し、持続可能かつ高い国際競争力の実現につながっています。

近年、国内でも、このような街路空間の再構築・利活用の先進的な取組みが見られるようになり、ウォーカブルなまちづくりとして、それらの取組みが進められています。

そのような中、香川県は高松市と連携し、令和5年4月に『高松中心市街地プロムナード化検討会議』を設置し、高松中心市街地において、より一層のにぎわいを創出するため、歩行空間の課題を抽出し、都市空間の再編に向けた検討を行っています。

高松市都市計画マスタープラン

都市づくりの基本目標の一つに、『賑わいと魅力あるシーフロント・都心づくり』を掲げ、その中で、「都心内においては、徒歩と自転車を適切に組み合わせ、歩いて楽しい回遊性の高い都心を形成する。」ことを位置付けています。

G7香川・高松都市大臣会合のコミュニケ

「すべての人々にとって魅力的で、アクセスしやすく、健康的な都市を実現するためには、安全で快適なウォーカブル空間の総合的な設計、開発、管理を強化し、人による移動を奨励すべきである」ことが強調されています。



出典：国土交通省HP

2 目的・意図

人と環境にやさしく、過度に車に依存しないまちづくりを目指して、歩いて楽しめる歩行者優先のまちづくりを進め、高松中心市街地に歩く人や滞在する人を増やし、より一層のにぎわいを創出したと考えています。

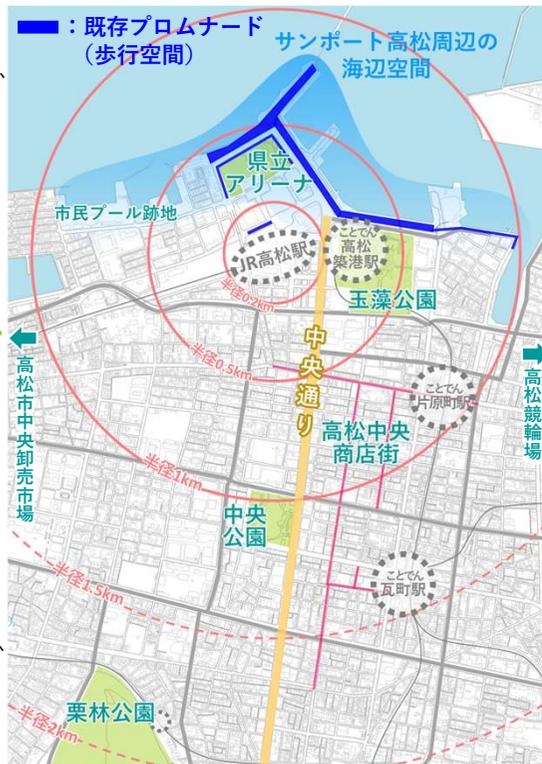
今後、サンポート高松から高松中心市街地全体へ取組みを広げていくにあたって、関係者の皆様とビジョンを共有しながら進めていくため、この度、高松中心市街地プロムナード化検討会議として、「高松中心市街地プロムナード化ビジョン」を取りまとめることとしました。

本ビジョンでは、安全で、美しく、楽しい、歩行者優先の空間づくりを「プロムナード化」と定義します。

3 現状と課題

高松中心市街地には、県立アリーナなどがあるサンポート高松、日本一長いアーケードを有する高松中央商店街、玉藻公園・中央公園などのにぎわい拠点があり、それらをつなぐ鉄道・バスなどの公共交通網があります。より一層のにぎわいを創出するためには、これらを有機的につないで回遊性、滞在性の向上を図り、歩く人や滞在する人を増やす取組みが必要です。

また、サンポート高松周辺の海辺空間では、港湾緑地や大型クルーズ客船の受入施設などの整備が進められており、今後、市民プール跡地や再整備が進められている高松市中央卸売市場、高松競輪場を含む周辺エリアとともに、より魅力的なベイエリアとなるよう取り組む必要があります。



地図出典：国土地理院 基盤地図情報GISデータを加工して作成

高松中心市街地では、次の項目を回遊性、滞在性向上への課題と捉えています。

歩行空間

JR高松駅から中央商店街までは、距離が約0.5kmで歩いて約10分の徒歩圏内にあるものの、魅力的で楽しい歩行空間となっていないことから、つながりを強化するとともに、滞留できる広場や休憩場所の充実を図る必要があります。

高松中心市街地にある中央通りは、南北に延びるシンボルロードですが、6車線の幹線道路で東西エリアが分断されており、一体化を図る必要があります。

案内

サンポート高松から中央商店街への歩行者動線が分かりづらいことから、来訪者にも分かりやすい明確な動線を形成するとともに、案内サイン機能の強化により、歩行者等の適切な誘導を図る必要があります。

移動手段

中心市街地内の回遊性向上には、徒歩での移動に負担を感じる人など多様な移動ニーズに対応するための交通手段の選択肢を確保する必要があります。

また、安全で快適な歩行者空間を広げていくためには、過度な自動車流入の抑制に取り組む必要があります。

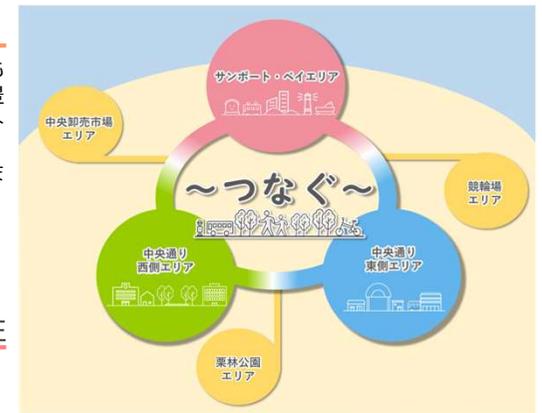
エリアマネジメント

多様な主体が管理している空間を利活用しやすく、各エリアのイベント主催者が連携しやすい環境づくりを行って、エリア全体のにぎわい創出につなげていく必要があります。

4 プロムナード化のビジョン

穏やかな瀬戸内海の景観は「世界の宝石」とも称され、この世界に誇れる魅力的な海と、歴史豊かな公園、駅、商店街などが近接するコンパクトな高松都心部を基盤として、環境、健康、交通、経済等の面からサステナブルでにぎわいのあるまちづくりに向け、次の空間づくりを目指します。

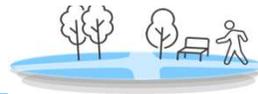
- ▶ 歩行者優先のウォーカブルな空間
- ▶ エリア間の移動がしなくなる空間
- ▶ 歩いて楽しい出かけたくなる空間



5 ビジョンを実現するための方向性

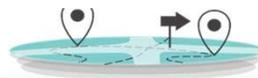
空間や人を『つなぐ』をキーワードに、次の4つの観点で回遊性、滞在性の向上を図ります。

1 「歩行空間」でつなぐ



- 魅力的で楽しく、歩きたくなる空間の創出
- 歩行者が安全に拠点間を自由に行き来できる動線の確保
- 美しくて居心地が良く、憩える空間の創出

2 「案内」でつなぐ



- 歩行者動線の明確化
- 分かりやすい案内サインの整備

3 「移動手段」でつなぐ（歩行者の移動を助ける）



- 多様な移動ニーズに対応するための交通手段の選択肢の確保
- 過度な自動車流入を抑制するための駐車場マネジメント

4 「エリアマネジメント」でつなぐ



- 空間を利活用しやすい環境づくり
- 各エリアの主催者が連携しやすい環境づくり